20170423「全ての者への福音」

目標: イエス様の宣教命令を受け取る。 聖書箇所: マルコ 16: 14~20 時間: 10分 暗誦聖句: 「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」(マルコによる福音書 16: 15) 道具: ホワイトボード、ペン

対象者: 中 1×1 小 6×1 小 4×3 小 3×2 小 2×1 小 1×2 未就園児 $\times 1$ 留意点:本時には今まで学んできた総括の意味合いがある。公生涯を踏まえてイエス様が与えたご命令を素直に受け取らせるために、15-18節に集中して進めたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	イエス様は甦られた後、何度も弟子たちに顕れて、いつ もどこにも私は一緒にいるんだよと教え続けられまし た。		昇天までの40日間、主イエスが顕れたり顕れなかったりした のは、見なくても臨在を信じるための訓練だったと言われる。
		その中で、イエス様は、私たちにご命令を出しておられます。		イエス様が私たちに命令するのは珍しいことであり、しかも公 生涯の最後になされたものなので、しっかり向き合うべきと し、意識を高める。
		このイエス様のご命令を今日は学んでいきたいと思い ます。		
課題探究	6分	15節について、福音を伝えることを伝道とか宣教とか 言います。宣教はイエス様のご命令なのです。		「全世界に出て行って、全ての作られたものに福音を述べ伝えよ。」 について。 内容自体を論じさせる事は不信仰の醸成になるので必ず避ける。
		「全世界」と言われたら、何が思いつきますか	・アフリカ・北朝鮮・アメリカ・近所や友達	恐らく遠い所が思いつくだろう。そこも世界だし、また近場も世界である。双方を意識させたい。挙がらなければ教師側で補足する。
		「全ての造られたもの」と言われたら、何が思いつきますか	・人 ・家や建物 ・動物 ・植物 ・地球	これは考えると、非常に幅が大きくなり、なすべきわざも多様になる。原発の被災地などを考えると言うことも重要だと思う。基本として「人」は押さえさせたいが、自由にいろいろなことを挙げさせ、それに福音を伝えるとはどういう活動になるか考えさせてみたい。子どもの中から将来科学者など出てくれば、誠に幸いである。
		信じて洗礼を受けたら救われる、そうしない人は救われませんとイエス様は言われます。		「信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、不信仰の 者は罪に定められる。」について。裁くのは父なる神がなさる ことで、私たちではない。故に、信仰を促し洗礼を促すべきだ との命令と解して進める。
		友達や家族の人に、イエス様を信じよう、洗礼を受けよう、(一緒に天国に行けるよ)。と行ってみたことはありますか。	・ある ・ない	今まで人に洗礼を勧めたことはあるかとの問いかけは、高学年 ならばしてもいいのではないか。 自分がまだだと言う場合は、 早く洗礼を受けてほしいと呼びかける機会としたい。
		信じる人には、救い主のイエス様が一緒にいるからだな あと思うような、いろんなしるしを体験することになり ます。		「信じる者には、このようなしるしが伴う」について。奇跡が 起きると言うことよりも、救い主イエスがその人に臨在してい るとの「しるし」であることに強調点を置きたい。
		17節「すなわち」以降、18節までを読んでみましょう。このようなものでなくても、イエス様を信じていて、 救われたという経験はありませんか。	・ある ・ない	使徒行伝においてこれらの事は事実起きたし、救い主のみ業は 現在も頻繁に起きているから、わたしたちはキリスト者なので ある。子どもたちから出なければ、教師の経験を開陳する。 理屈を言えば、この行為は神を試す行為だから駄目なのだが、
		でもあえて蛇を掴んでかまれたりしないで下さいね。	・はい	多分笑って理解してもらえるのではないか。イエス様を信じて 行動すれば、蛇にかまれる事も毒を盛られることもあるものな のだ。そのときでも主は救うと言う神の宣言なのである。
まとめ	2分	救い主のイエス様は、どんなときにも、私たちと共にいて、危ない目に遭っても、奇跡の救いを行って下さいます。福音を伝えようとすると、いろんな経験をします。 ぜひ挑戦してほしいと思います。 暗誦聖句		189号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。